



産経ニュース

【伝説の候補者列伝】(1)羽柴秀吉氏 「最後の戦国武将」はどこから出馬するのか

2009.8.15 18:00

天下分け目の総選挙を前に、熱い戦いを独自に続ける「伝説の候補者」たちがいる。東京都知事選や大阪府知事選、衆院選など各種選挙に14回出馬し、いずれも落選してきた青森県の会社社長、羽柴秀吉氏(59)＝本名・三上誠三＝もその一人だ。「最後の戦国武将」として数々の選挙を戦ってきた羽柴氏は、今回はどの選挙区に現れるのか。

羽柴氏は昭和24年、太宰治と同じ青森県金木町(現五所川原市)の生まれ。町立金木中を卒業後、農業をへて建設会社を興した。現在は羽柴企業グループ社主として観光ホテルや建設業「東北興産建設」、介護事業「羽柴カンパニー希望の星」を経営している。

事業の傍ら51年に金木町長選に立候補したのを皮切りに、平成11年東京都知事選(石原慎太郎氏が初当選)、12年大阪府知事選(太田房江氏が初当選)、12年衆院選(大阪1区、中馬弘毅氏が7選)、14年長野県知事選(田中康夫氏が再選)、15年大阪市長選(関淳一氏が初当選)、17年衆院選(神奈川11区、小泉純一郎氏が12選)など日本各地で「羽柴誠三秀吉」「羽柴秀吉」名義か本名で立候補し、いずれも落選した。

13年の参院選比例区で自由連合から出馬したのを除き、一貫して「無所属・新人」を通して。19年の北海道夕張市長選では得票差342票で次点、同年の参院選では北海道選挙区で5位ながら10万3282票と社民党候補を上回るなど、ここにきて知名度を上げている。

羽柴氏と携帯電話がつながった。ぼくとつな津軽弁が聞こえてきた。

--三上さんは、今回はどこから出馬するのか

「羽柴さんと呼んでくれよ。自分の本名は忘れてしまったのだから。皆さん同じ質問をする
が、今回は立候補しません」

--今回は立候補しないのか

「今回の選挙は、国民の皆さんが政権交代を期待している。私が無所属で戦っても希望が薄い。ただ、今でも気持ちがぐらぐらしている。いつでも出陣できるように鎧(よろい)も80万円
で新調した。以前の鎧は25キロと重かったが、今回のは16キロと軽くなっている」

--出るとすれば、どこからか

「東京1区(千代田、港、新宿区)だ。与謝野馨と海江田万里のところでやってやろうかと思っ
ている」

--なぜ東京1区なのか

「東京都心のマンションの住人たちは、誰が選ばれてもあまり関係ないと思っているだろう。
そうすると、人気上昇中の戦国武将であるオレに、ちょっとでも興味を持ってくれないかなと思

う」

--現在の政治をどうみるか

「今の自民党はボスがない。サル山でもボスがいるのに、みんな口先だけでリーダーがない。今の首相は前の2人よりはいいが、自民党がゴタゴタしているから、やはり任せられない。一方の民主党も『国民の生活が第一』と言いながら、政党助成金をもらって実際は『政治家の生活が第一』だ。オレはすべて私費で政治活動をしている」

「かばん」は300億円

《羽柴氏が経営する五所川原市の観光ホテル「小田川温泉・秀吉のやかた」は、国会議事堂を模した外観で知られ、ホテルの大広間は「衆議院本会議室」、中宴会場は「建設省」「農林省」などと名づけられているという。現在は休業中》

--なぜ休業しているのか

「2月ごろから、国会議事堂の三角形の屋根の雨漏りがひどくて、いま修理している。ついでに内装もやっていて、2千万~3千万円かかる」

--金融危機の影響はないのか

「こういう不況だから、もちろん影響はある。建設業も産廃処理に力を入れている。これからの時代は世の中の余り物を扱っていかないといけない」

--出馬見送りに影響はないのか

「それはない。これまで出陣を繰り返して領地を拡大してきた。知名度は抜群に上がってきたし、『かばん』もある。実際、余ってしまっている」

--資産はいくらお持ちなのか

「300億円ぐらい。これはホテルなど不動産の時価評価額を含めての、いわゆる総資産だが」

--本当に今回は出馬しないのか

「まだ5%ぐらいは可能性が残っている。供託金300万円は、没収されても300億円を考えればたいしたことはない。それで日本の国がよくなるのなら、尽くしたい。実は、選挙には出ないが東京都内へ選挙カーを出して演説をやるかとは思っていた。青森県警に相談したら『羽柴さん、誤解を招くから控えたほうがいい』と言われた」

--何を訴えようと思ったのか

「日本国民よ、目を覚ませと。自民党にも民主党にも託せない人は、投票用紙に『羽柴秀吉』と書いて批判票(無効票)を投じてくれと。誰かが扉を開けなければ日本の政治は変えられない。麻生太郎にせよ鳩山由紀夫にせよ、親の七光りでトップのいすに座っただけだ。オレの親父は水呑み百姓だった。高校サ行くお金もなかった。羽柴秀吉のように、本当に苦労して貧乏のどん底からはい上がってきたような強いリーダーが出ないと日本はよくなる。強い日本を作らねばだめだ。強い日本、強い経済を作らねばだめだ」

「新党サムライ」結成か

--各選挙区の情勢をどうみるか

「いずれにせよ、候補者は見栄えがよくないといけない。今の国民はみんな見栄えで判断しているんだから」

--小泉チルドレンをどうみるか

「軒並みだめ、というわけではないだろうが、今回は小泉純一郎がいたから当選できたのだろう」

--羽柴さん自身は、なぜ当選しないと思うか

「国民の暮らしを本当の意味でよくするためには、根本的な改革が必要だ。オレはそう思って『すぐに手術する』というような演説をするからだめだと思うんだ。国民は『手術しなくても注射で治します』という医者のところへ行く。でも、そうやって根本的な治療をしないでいるうちに手遅れになる。簡単に短く説明すると、そういうことだ」

--今回は出馬を見送り、政権の行方を見極めるということか

「最終目的は大阪城だから。大阪1区で大阪城にのぼりを立てる。今、名古屋のほうから『羽柴新党』を立ち上げてくれという話がきている。10人くらいで新党を立ち上げる。『新党サムライ』だ。オレは日本最後の戦国大名だもの」

--最後に鳩山代表にひと言

「まあ、いい日本を作ってくれよ。それだけだ。自民党よりましな日本を作ってくれよ。それができなければオレが許さない。民主党がダメなら『新党サムライ』の出番だ」

羽柴秀吉氏が“ミサイル基地”建設